

海洋プラ問題の緩和につながる、フィリピンの離島におけるコミュニティベースの3Rとゴミ減量化の実践

活動地域  フィリピン



村内の清掃活動の様子

課題

フィリピンは海洋プラスチックの流出量が世界3位、活動地であるボホール州でもゴミ管理施策評価が最下位という結果から、住民のゴミ分別や3Rの意識が欠如している。

目標

Mahanay村における環境保全と住民の健康保持のため、3R促進、ゴミ減量化を実践することで循環型社会を指向し、海洋プラスチック汚染を緩和する。



今後の展望

今後は、資源ゴミ管理場所やゴミ集積場の建設、ゴミ分別のコンテストを行うことにより、さらにゴミが適切に分別される環境を作る。また、住民による家庭でのコンポスト作りを行うことで、ゴミの減量化を目指す。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

- 住民110世帯を対象にゴミ分別等に関するアンケート調査を実施した。そのデータをもとに、啓発用のポスターや看板、パンフレットの作成、配布を行った
- 毎月1回、住民による沿岸部や村内の清掃活動を実施した。以前は、村内にゴミが溢れかえていたが、住民の意識が徐々に変わり始め、ポイ捨てが減った
- 住民や小学生生徒、ユース団体のメンバーに対して、専門家による環境教育を実施した。それにより、住民の3Rの理解が約60%になった



ゴミの実態調査を行っている

家庭での適切なゴミの分別 **40%**

住民の3Rの理解 **60%**

今年度計画の達成度 **80%**

全体計画の達成度 **30%**

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

雨期以外でも悪天候の日が続き、活動地へ行くためのボートに乗船することができず、活動を延期せざるを得ないことが多かった。

■ 工夫した点

事業開始前に、村の住民をはじめステークホルダーに対してしっかりと事業概要等を説明することで、協力体制を構築した。

〒460-0004

愛知県名古屋市中区新栄町2丁目

3番地 YWCAビル7階

電話：050-6873-1521

E-mail：ikawako.mangrove@gmail.com

HP：http://ikawako.com/

